

学習内容と到達目標

- ☞ 自分の部屋について描写する（どこに何があるかなど）ことができるようになる。
前半：[1. INTRODUCTION] ～ [6. PAIR WORK]（「何があるか」を尋ねる練習）
後半：[7. SPEAKING] ～ [10. PAIR WORK]（「どこにあるか」を尋ねる練習）

指導のポイント

1. INTRODUCTION 第3課の復習。①では地図を鳥瞰図的に見て「バス停は駅の前です」のように説明できるか確認すると同時に、地図上のどこか（例えば駅前のバス停）にいるという設定で「銀行はどこですか」「銀行ですか。銀行は学生寮の先です」のように道聞きの練習をする（第3課 6. VOCABULARY 参照）。②では、CDの質問にすぐに答えられるかどうかが重要。答えられなければ、3課の復習をもう一度するか、スムーズに答えられるようになるまで何度も練習する。また③では、CDを聞く前に話し手と聞き手が地図の右端にいることを確認しておくこと。

2. SPEAKING 学習者はまだ「上下左右」以外の位置を表す言葉を知らないので、とりあえず部屋の中にある物（いる動物）の名前を言えればOK。

3. LISTENING ①は「1. 花があります」の「花」だけ聞き取れば答えられるはず。②でスクリプトを確認した時、どうして猫とキムさんだけ「あります」ではなく「います」なのかを答えさせる。その後、もう一度絵を見て「花がありますか」「いえ、ありません」のように練習する（学習者が予習をきちんとしていれば、①で答えを確認する時、このように練習してもよい）。

4. VOCABULARY ①と②で「上下左右」意外の位置を表す言葉を学習した後、③でCDを聞く前にキムさんの部屋をもう一度見て、どこに何があるかを言わせる。「～に～があります」という文型を学習する前なので（予習をしていない学習者が）「上、つくえ、パソコンがあります」などと非文法的な発話をしても問題視しない（④でスクリプトを見て確認すればよい）。

5. FOCUS ①は文型の確認。②では質問の形式が「何がありますか」（＝物の場合）、「何がいますか」（＝動物の場合）、「誰がいますか」（＝人の場合）の3パターンあることを確認。

7. SPEAKING 「～は～にあります/います」というもう1つの文型を引き出す練習。予習をしていない学習者は最初に学習した文型を使って「2階にお兄さんがいます」と表現するかもしれないが、それはそれで構わない。

8. LISTENING 3. LISTENINGと同様、①は「1. 山川さんは2階にいます」の「山川さん」と「2階」さえ聞き取れば答えられるはず。②でスクリプトを確認した後、もう一度101ページの絵を見ながら、学習者に「お兄さんは2階にいます」と言わせて練習する。

9. FOCUS

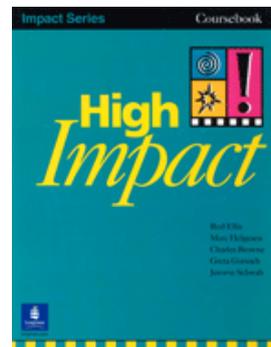
①は文型の確認。②では、そこに「何があるか」を尋ねる場合と、それが「どこにあるか」を尋ねる場合で、2つの文型を使い分けていることを理解させる。その上で、101ページの絵を見ながら、2つの文型を混ぜたQ&Aを試してみる。

活動例

①町のデザイン

☞ Rod Ellis が監修した英語テキスト『High Impact』(Pearson Longman) の25頁にある「町のデザイン」タスクをペア、またはグループで行う。

<http://www.longmanjapan.com/search/onlinecatalog.html?id=1046>



タスクの内容：タテ3区画、ヨコ5区画の敷地（自宅マンションのある1区画を除いた合計14区画の空き地）に、別ページにある病院や学校、公園、レストランなどの絵を切り取って配置し、自分の理想の生活環境をデザインするタスク。この種のタスクは決して珍しいものではないが、このタスクがおもしろいのは2つの条件（制約）が設定されているところ。1つは各施設に0～4のポイントが割りふられており（例えば、「学校＝1」、「コンビニ＝2」、「地下鉄の駅＝3」、「テニスコート＝4」など）、配置した施設の合計ポイントがちょうど25になるように選ばなければならない点。敷地内に「近くにあってほしい施設」ばかり配置すると簡単に25ポイントを超えてしまうので、よく考えないと「それほど必要とは思わない施設」や「まったく必要ではない、むしろ迷惑な施設（例、「ゴミ捨て場＝0」や「お墓＝0」）を配置しなければならなくなってしまう。加えて、配置する施設が Shops、Restaurants & Entertainment、Public Service、Green Space、Others の5つにグループ分けされており、それぞれに（例えば Shops は「2区画以上4区画以下でなければならない」などの）選択条件が設けられている。このタスクはこれまで何度か授業で使ったことがあるが、初級のクラスで使っても、上級のクラスで使っても、あるいは教師研修で現職に日本語教員に使っても好評であった。

プチ情報：現在執筆中の地域の日本語教室向けの教材もこのタスクからヒントを得たものである（来年春？出版予定。こちらもお楽しみに！）。

②自分が住んでいる町の地図を描く

☞ 自分の部屋の描写をする活動は [6. PAIR WORK] の②で既に行っているのので、ここでは自分の住んでいる町の地図を描いて説明する練習を、活動例①の後に行う。ただ、残念ながら、国際コースの学生の場合には、ほぼ全員が大学内の学生寮に住んでいるため、私たちのクラスでは実施できなかった。

授業で使えるリソース

☞ 九大の国際コースの学生のように、みなが同じ学生寮に住んでいるなどの理由で話題が広がらないときは、Google Map のストリートビュー機能を使うとおもしろい。この機能を使えば（大都市圏なら）日本にいながら外国の町を立体映像で見られるので、学習者に自身の出身地をスクリーンを使って説明させることもできる。